



地域リハビリテーション支援センターだより

(神奈川県リハビリテーション支援センター)

地域リハビリテーション連携構築推進事業

今一度知ろう 地域ケア会議における リハビリテーション職の役割と可能性について

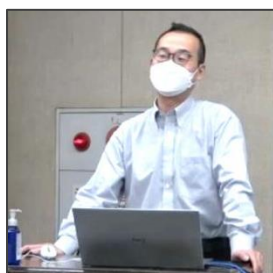
in 鎌倉市

第1回目 11月30日(水) 18:00~20:00 鎌倉商工会議所

令和4年度 神奈川県地域リハビリテーション連携構築推進事業第1弾鎌倉市編の研修会を、鎌倉市役所前の鎌倉商工会議所で2回にわけて開催しました。オンライン(Zoom)によるライブ配信も行いました。

1回目は、地域包括ケアを進めていく中、今一度、リハビリテーション3職種(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)の役割について理解していただくことを目的に講義をしていただきました。

研修会を通し、他職種からその役割を、大いに期待されていることを知る機会にもなったと思います。



(左から)

合同会社クゴリハ代表 PT 久合田 浩幸氏、 神奈川県作業療法士会理事 湘南鎌倉総合病院 OT 吉本 雅一氏
神奈川県言語聴覚士会理事 介護老人保健施設 にじの丘足柄 ST 舟橋 庄司氏、 当支援センター SW 小川 淳氏



第2回目 12月14日(水) 18:00~20:00 オンライン研修(Zoom)

2回目は、当初対面による模擬会議を行う計画をしていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、受講希望者からオンラインでの実施のご要望を頂き、急遽、オンライン(Zoom)による開催に変更させていただきました。司会進行をお願いしている、前田玲氏と幾度も進行についての打ち合わせをし、開催する事が出来ました。また、特定非営利活動法人 かまくら地域介護支援機構のご協力も頂き、時間の制約のある中で、十分な意見交換が出来なかった点もあると思いますが、他職種連携の重要性・必要性について知る機会になったと思います。

(磯部 貴光)



司会進行 神奈川県理学療法士会 地域包括ケアシステム推進部
介護老人保健施設 さつきの里あつぎ PT 前田 玲氏

第2弾は、秦野市にて、
『グループホームにおけるリハビリテーション
の可能性について』

というテーマで開催する予定です。
会場参加のほか、オンライン(Zoom)での
参加も可能です。みなさまのご参加をお待ち
しております!

詳細は当支援センターHPをご確認ください。



リハビリテーション 専門研修



10.19
(水)

褥瘡予防セミナー

医療・福祉・行政関係者・患者/家族等を対象に、褥瘡についての基礎的な知識（褥瘡の好発部位やその要因）や予防（ケアの方法やポジショニングの考え方など）について、講義やデモを通して学びました。



受講生の声 各職種の方が様々な視点でわかりやすくお話しして下さい、即実践に活用できそうな内容で勉強になりました。

神奈川リハ病院 医師 渡辺 偉二、看護師 長堀 エミ、RE 辻村 和見、PT 森田 智之・本田 博基、OT 佐々木 貴

脳卒中の方の就労支援 ～地域の支援ネットワークを活用した伴走型支援を実現するために～

10.29
(土)

地域の実情に応じた「伴走型の就労支援」のあり方について、地域支援ネットワークの要を担う支援者の方々のほか、当事者とご家族にもお話しをしていただきリアルな声を交えながらの研修会となりました。



受講生の声 専門職間の情報共有で知識を高めることも大切だが、本人や家族の話を聞ける機会も必要だと思いました。

障害福祉なんでも相談室
訪問 R-station
当事者、ご家族
神奈川リハ病院

就労支援員 森 基明 氏
理学療法士 田代 宙 氏
小倉 牧男 氏、小倉 道子 氏
職業指導員 小林 國明、OT 露木 拓将

11.1
(火)

ポジショニング入門 ～24時間で姿勢援助を考える～



ベッド上臥位や車いす座位における安定かつリラックスできる姿勢への支援方法や姿勢の整え方・耐圧分散を促すクッションの差し込み方など、翌日から実践できる内容の講義を実技中心に学びました。

受講生の声 自分がまず体験することで、伝えるだけでは伝わらないのがよくわかりました。説明がわかりやすく、あっという間の1日でした！

一般社団法人ナチュラルハートフルケアネットワーク 代表理事 下元 佳子 氏

知的障がいのある方への生活支援

知的障がい者を取り巻く現状やリハビリ的な視点から身体機能の低下に対する対応、日常生活動作能力を維持するための工夫など、講義やグループワークにて対応方法の検討・情報交換を行いました。

11.15
(火)



受講生の声 色々な意見を出し合うことで、自分では思いつかない支援方法も聞けて勉強になり、とても参考になりました。

神奈川県総合リハビリテーション事業団

地域リハ支援センター

七沢学園 副園長 能條 尚樹
PT 小泉 千秋、OT 清水 里美

11.23
(水)



脳血管障がいの評価と治療

片麻痺の歩行をテーマに、評価の視点と治療技術を、講義やハンドリングを通して学びました。1日を通して実技の時間が多く、実際に体験（体感）することでより理解につながったのではないのでしょうか。

受講生の声 職場での実技練習の機会が少ないので、すごく勉強になりました。触り方の感覚が少し理解できたように思いました！

Fリハビリテーション平塚 PT 藤井 誉行 氏

高次脳機能障がいセミナー ～実務編～

高次脳機能障がいの方に対する「入院から社会参加に至るまでの経過に沿ったリハビリテーション」をテーマとして、各専門職の立場からアプローチのヒントについて、講義を通して学びました。

12.10
(土)



受講生の声 時間やプログラムもちょうどよく、各職種の実際の臨床を交えたお話をうかがうことができ、勉強になりました。ありがとうございました！

神奈川リハ病院 医師 青木 重陽、OT 高橋 大樹、PT 有馬 一伸、心理 山岸 すみ子、職業指導員 進藤 育美、SW 瀧澤 学



高次脳機能障害学会学術総会



2022年12月2日（金）3日（土）、山形県山形市で第46回日本高次脳機能障害学会学術総会が行われました。「感じる高次脳機能」をテーマとして、今回も多様なシンポジウムや発表がありました。山形県立保健医療大学特任教授：平山和美先生の会長講演では、脳損傷により「視覚」「体性感覚」「視覚・聴覚・体性感覚」に障害が生じたケースについて、事例を通して講演がありました。私たちは、当事者が気づきづらい脳損傷に伴う認知機能障害（記憶、注意、遂行、社会的行動障害）への対応を中心に支援を行っています。反面、気づきやすい感覚障害に戸惑いつつ生活していく様子について、損傷部位と症状と障害認識の関係を基軸としつつ、主観的障害認識を患者自身の説明・語りから紐解いていくお話を興味深く拝聴しました。

今回の大会もコロナ禍の開催でしたが、昨年の福島大会よりも参加者が多く、病院勤務医、支援コーディネーター、研究等と一緒にいった方など、様々な方とリアルにお会いする機会となり、現状の情報交換をすることもでき、非常に有意義な大会であったと感じました。

私自身は、一般演題「支援者」の座長として参加をさせていただき、緊張のひと時を過ごさせていただきました。（瀧澤）

4月～11月末 専門相談実績

	神経・筋疾患	脊髄障害	脳血管障害	骨関節疾患	後天性脳損傷 (除くCVA)	脳性麻痺	知的障害	視覚障害	その他(切断・ 加齢等)	不明	合計
県央	8(2)	3	8(1)	2(2)			12(4)	4(1)	4(2)	1	42(12)
湘南東部		1			12(2)	1	7				21(2)
湘南西部	2	7(1)	4(1)		1	7(2)	4(1)	4	3		32(5)
県西	4(1)	2	2		1	2			1		12(1)
横須賀・三浦			2						3		5
合計	14(3)	13(1)	16(2)	2(2)	14(2)	10(2)	23(5)	8(1)	11(2)	1	112(20)



	障害者更生 相談所	居宅介護支 援事業所	市町村	地域包括 支援事業所	本人・家族	障害者 相談支援事 業所	障害者施設	医療機関	訪問看護 事業所	保健福祉 事務所	高齢者施設	訪問介護 事業所	教育機関	その他	合計
県央		4(1)	1		6	3	13(5)		2		10(5)	2(1)	1		42(12)
湘南東部					1	5	10(2)	1	3				1		21(2)
湘南西部		3(1)			7	4(1)	9(3)		5				3	1	32(5)
県西		1	1		1	2		1	5(1)					1	12(1)
横須賀・三浦				1	3	1									5
合計		8(2)	2	1	18	15(1)	32(10)	2	15(1)		10(5)	2(1)	5	2	112(20)

()の数字は訪問の件数

今年は、10月5日(水)から7日(金)の3日間、**東京ビッグサイト東展示ホール**の大きな会場で、リアル展が開催されました。併せて、Web展は9月5日(月)から11月7日(月)まで開催されていました。参加企業342社、リアル展の参加人数は3日間の累計入場者数88,521名、全体のPV数は1,899,396PVと公表されています。

昨年は、コロナの影響で、173社39,647名でしたから、倍以上の規模となっています。印象としては、感染対策の一環と思いますが、展示ブース間の間隔が広めでとても拝見しやすい環境でした。

次の開催については、2023年9月27日(水)～29日(金)の3日間行われると発表されています。今回は、50回の節目の展示会ですので、特別なイベント等の企画を計画中的のことですので期待は膨らみます。(磯部)

トヨタ自動車「**JUU**」 開発中
階段も登れる「自由」な電動車いす

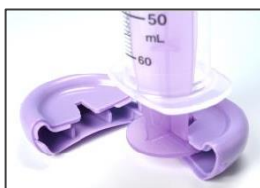


SMILE PALM (株式会社サカエ工業)
スマイル パーム

この商品は、カテーテルシリンジで、食事や栄養剤を摂取する時に、押したり引いたりする際の『手が痛い』『疲れる』といった介助者の負担を軽減してくれる商品です。

一見、シリンジ押すだけなのにそんなに大変？と思われるがちですが、日に複数人の介助を何十回も行おうとなると、手にかかる負担は想像よりもはるかに大きいのです。そんな声に耳を傾け、少しでも楽に…という想いで開発したスタッフの方のやさしさがつまった商品です。(清水)

後部のフリッパーを倒して本体を支えることで17cmの段差も登れるそうです！



和夢テーブル (シーホネンス株式会社)

今回紹介するのは、後付けで上肢をのせられるテーブルです。通常のテーブルの形状では、テーブルと身体の間隔が離れるため、肘はテーブルの上にのせることができません。

この和夢テーブルは、通常のテーブルに後付けで設置し、肘をのせることが可能になります。

食事を取り込む際の上肢の動きの補助や体幹の姿勢保持に有用と考えられます！発売は、2023年春を予定しているとのこと、ぜひ試してみたいと思います！(小泉)

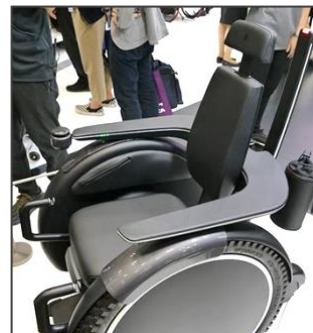


これが実用化したら・・・

今まであきらめるしかなかったあの場所へ行けるかも・・・！

開発者の方は多くの車いすユーザーに使っていただきたいという想いで製作しています！

そう遠くない未来に街で見かけるようになることを期待しています♪ (清水)



編集後記

1年経つのが早い早い早い！お盆が終わったと思ったら、もう箱根駅伝の季節です。ここ数年、夏か冬の2つの季節しか記憶にありません(泣)。今年も残りわずか…、コロナ感染に氣をつけて元気に1年を締めくくれますように！(S・S)

〒243-0121 神奈川県厚木市七沢516
神奈川県総合リハビリテーション事業団
地域リハビリテーション支援センター
☎ 046-249-2602
FAX 046-249-2601